

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 看護学科    |                 | 科 目 区 分                           | 専門分野  | 授業の方法                    | 講義演習          |
|--|---------|-----------------|-----------------------------------|-------|--------------------------|---------------|
| 科 目 名  | 精神援助論 I |                 | 必修/選択の別                           | 必修    | 授業時数(単位数)                | 15 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | 2年      |                 | 学期及び曜時限                           | 前期    | 教室名                      | 2年生教室         |
| 担 当 教 員  | 下田 基代枝  | 実務経験と<br>その関連資格 | 看護師として精神科病棟で勤務していた。               |       |                          |               |
| 《授業科目における学習内容》   |         |                 |                                   |       |                          |               |
| 対象を理解する手段となる傾聴、共感を基本としたコミュニケーション技術の活用と、人間関係を確立、発展させる方法について学ぶ。同時に自己を理解することの必要性とその方法についても学ぶ。 |         |                 |                                   |       |                          |               |
| 《成績評価の方法と基準》   |         |                 |                                   |       |                          |               |
| 課題の提出と本試験  |         |                 |                                   |       |                          |               |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》  |         |                 |                                   |       |                          |               |
| 精神看護学(2)精神看護の展開(医学書院)  |         |                 |                                   |       |                          |               |
| 《授業外における学習方法》  |         |                 |                                   |       |                          |               |
| プロセスレコードの記録は授業時間だけでは足りません。自己学習で行うことになるため、授業内容をよく理解して取り組んでください。                             |         |                 |                                   |       |                          |               |
| 《履修に当たっての留意点》  |         |                 |                                   |       |                          |               |
| 基本的には教科書に沿った内容と演習です。また課題があるため、主体的な取り組みが必要となります。  |         |                 |                                   |       |                          |               |
| 授業の方法  | 内 容     |                 |                                   | 使用教材  | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容    |               |
| 第1回  | 講義形式    | 授業を通じての到達目標     | 精神看護の前提として自分の感情がどのように影響するのか理解できる。 | 資料教科書 | シラバスでの内容と授業範囲の確認         |               |
|  |         | 各コマにおける授業予定     | 第8章 A ケアの前提 B ケアの原則               |       |                          |               |
| 第2回  | 講義形式    | 授業を通じての到達目標     | 精神看護を行う上での基本的なルールについて理解することができる。  | 資料教科書 | 資料での復習と予習                |               |
|  |         | 各コマにおける授業予定     | 第8章 C ケアの方法                       |       |                          |               |
| 第3回  | 講義形式    | 授業を通じての到達目標     | 実際の精神科看護の基本となる方法について理解することができる。   | 資料教科書 | 資料での復習と予習                |               |
|  |         | 各コマにおける授業予定     | 第8章 プロセスレコードの書き方                  |       |                          |               |
| 第4回  | 講義演習形式  | 授業を通じての到達目標     | プロセスレコードの目的、書き方について理解することができる。    | 資料教科書 | 資料での復習と予習<br>課題の作成(30分～) |               |
|  |         | 各コマにおける授業予定     | 第8章 プロセスレコードの活用 ①                 |       |                          |               |
| 第5回  | 演習形式    | 授業を通じての到達目標     | 演習を通してプロセスレコードの書き方を理解できる。         | 資料教科書 | 資料の復習<br>演習課題(30分～)      |               |
|  |         | 各コマにおける授業予定     | 第8章 プロセスレコードの活用 ②                 |       |                          |               |

| 授業の方法 |                     | 内 容                                      | 使用教材  | 授業以外での準備学習の具体的な内容   |
|-------|---------------------|--|-------|---------------------|
| 第6回   | 演習形式<br>授業を通じての到達目標 | プロセスレコードを修正することによって、さらに理解を深める。           | 資料教科書 | 資料の復習<br>演習課題(30分～) |
|       | 各コマにおける授業予定         | 第8章 プロセスレコードの活用 ③                        |       |                     |
| 第7回   | 演習形式<br>授業を通じての到達目標 | 精神科看護で起こりがちな患者と看護師との間の感情体験について理解できる。     | 資料教科書 | 資料の復習と演習課題          |
|       | 各コマにおける授業予定         | 第8章 患者－看護師関係における感情体験                     |       |                     |
| 第8回   | 講義形式<br>授業を通じての到達目標 | 援助の場面でかかわりが難しい状況の原因と対処の方法について理解することができる。 | 資料教科書 | 資料の復習と演習課題          |
|       | 各コマにおける授業予定         | 第8章 対処の難しい場面                             |       |                     |